



ビルトアッガーズ

サークル：ウメボシ工場
基礎CG10枚+差分総計279枚

PHASE1：一崩壊の始まりー

GBNの存亡をかけた第二次有志連合戦を経て、無事ELダイバーとして穏やかな日々を過ごしていたサラ。

しかしある日一人で行動していた彼女に魔の手が迫る。謎の触手に機体ごと拘束されたサラはそのままもう一つのGBN——「E-GBN」へと引きずりこまれてしまった。

—そして、彼女の身に「ブレイクデカール」の悪夢が再び襲い掛かろうとしていた。



「これ……とても嫌な感じがする……。何をするの……？
いや……離してっ。リク……助けて……！」



「んあああっ！は……あ……！お腹、苦しい……
ダメっ……入ってこないで……！」

「イ
イ
イ
！」

「ア
ア
ア
！」



「あっ！ひうっ！なん……で、私……嫌なはずなのに、
気持ち悪いはずなのに……！気持ちいい、の……？」



「ひああああああああああああああ♡♡♡」



「はあ……はあ……っ♡これ……すごくきもちいい……♡
んっ……♡また動いて……もっと気持ちよくしてくれるの……?
嬉しい……もっと、私の中……貴方で満たして……♡」



「あっ♡あはあっ♡すごい……♡おなか……いっぱいなのにつ
たりない♡あひっ♡ずっと♡ずっとこうしてたいの……♡♡♡」

PHASE2：一悦楽への誘い一

「E-GBN」に染められたサラは元来の仲間想いな性格が災いし、悪意無く仲間たちを「E-GBN」へと誘いこみ、彼女達は快楽と共に「ブレイクデカール」を刻まれてしまう。

そうなってしまえばもう彼女達に逃れる術はない——

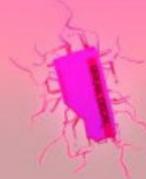
快楽に染められたモモ、アヤメ、ナナミは自らの足で「E-GBN」へと向かい、同じくデカールに魅入られた者達と交わり狂うのだった。

「ふふ……相変わらずすごいガチガチね……♪
今日も満足できそう……。じゃあさっさと
生ハメセックス……始めましょうか」



ブレイクデカール
「アヤメ流忍法——武零区出火亞琉、起動！」

—BREAK DECAL ACTIVE—



「つ——♡♡♡はあ……♡これ……この感じ、
挿入れてるだけなのに、頭の中痺れて
すぐにでもイケそう……♡」



『あんっ♡んっ♡このチン〇、相性いいみたいね♡
でも簡単には負けない……私がイクより先に
貴方達全員イかせてみせるんだから♡』



「んほおおっ♡♡♡奥っ♡入ってキタあ……っ♡♡
んひっ♡♡マズっ♡奥コンコンだめえっ♡
こんな、の♡イクっ♡イっちゃううう♡♡」





『あひ……♡は……っん♡先……イカされ
ちゃった……♡でも、次は負けないわ……♡
次こそは私が先にイかせるんだから……♡』



「チン〇お♡チン〇いいっ♡ザーメンもっとおつ♡
あひいい♡♡またイグラううつ♡♡♡」



「いやー、何度もゲームなのにすっごい再現度
だよねー♪リアルのチン○と全然違わないもん」



「それじゃ、あとはこれを使えば.....
ブレイクデカール、オーンっと♪」

—BREAK DECAL ACTIVE—

「んひっ♡これこれえ……♡デカール使っただけで
臭いも熱さも全然違う……すっごい濃厚だもん♪
あー、もう我慢できない♡ヤっっちゃおーっと♡」



「あんっ♡あっ♡んあっ♡♡うん、やっぱりこの
チ○ボいいわあ♪大当たりのデカチ○ボね♪
子宮口まで届いてっ♡コツコツ突かれてるう♡♡」



「ひうっ♡♡あはあ♡キてるキてるぅ♡♡ゲーム
なのにっ♡体が、排卵しちゃってるのぉ♡♡♡
ナカっ♡このままナカにザーメンぶちまけてえ♡」



「あはあああああああああああああっ♡♡♡」



「はっ♡あは……つ♡ザーメンめっちゃ出てるぅ♡
こんなの現実なら妊娠間違いなしだよねー……
……なら、現実でも……やってみよっかな♪」



「ふふーん♪相変わらずみんなガッチガチだねー♪
でも何度もセックスしたチ○ボ相手だもん、
今日こそ全員ヌききってやるんだから♪」

「そ・れ・じゃ・あ……始めるよー！
ブレイクデカール、ON♪」

—BREAK DECAL ACTIVE—

「ん～～っ♡♡♡あはっ、丰た丰たあ……♡
少し動くだけでイっちゃいそうかも……♪」



「ひうっ♡っ～～♡な、なんかっ♡前……より
んあっ♡感じ、ちゃってるう♡な、なんでえ♡♡」





「ヤバっ♡♡まだ、始めたばかりなのにい♡
も……んひい♡耐えられないっ♡♡イくっ♡
イカされちゃううううう♡♡♡」

「ひゅううううううううううううっ♡♡♡♡♡」



「はあ♡んあ……♡すご、簡単にイカされちゃった♡
デカールが体に馴染んできたのかなあ……？
これはもう少し試してみないと……」



「あひいい♡チ〇ポしゅごいいい♡イクううっ♡
だめえっ♡おなか破けちゃううう♡♡♡」



PHASE3：一侵食された日々

ブレイクデカールにより快楽の虜となったナナミ。

彼女は既にE-GBNでの行為だけでは満足できず、そこで体を重ねた相手達と現実でも連絡を取り合う様になって「オフ会」と称した乱交に明け暮れる日々を送っていた。

そんな彼女の近況を聞いたアヤメは現実でのセックスに興味を持ってしまい、ナナミに誘われるがままアヤメは男達とのオフ会に顔を出す事に……

「あははっ♪GBZの再現度はすごいけど
やつぱこのイカ臭さは本物のチン○
でこそよね♪」

ふふつ、いいよー♡このまま出して♡』



「どはいえ後で生ハメするんだから……ここであんまり出し過ぎないでよー？」

たぶん♥

ビクン

ビクン

ふふ♥

ビクン

「んー……！
だ来るんだも。少しだけアヤメちゃんち
手コだけ。いまあみんないならアリだよ。
ね」

「きゅうきゅうすうじお♡♡♡」



「あ。アヤメちゃんから連絡来てる。
しめたの怒られちゃうかな……。先につまってる。
あはは一
あはは」

べくっ

べくっ



べくっ

ん
ん
ん

ぐ

べくっ

べくっ

べくっ

ドロ…

「あは……
みんな溜め思つてたより出たね
ハメ分のザーメンないんじやない?
みんは…」

「いやー、GUNでのセックスもいいけど
やつぱりチン〇はナマがいいわね♪」

ズブブ・

ズッ・

ヌク・

ズク・

「んつ……はう……♥今日の人、太い……
お腹の中、チン〇で圧迫されてる……♥

ギュ・

はあ……♥

ギュ・

ヅク

あく

ホク

ん♥



「つー[♥]奥つ[♥]チ[○]でゴリゴリつて[♥]
ダメつ[♥]あたまつ[♥]バカになるつ[♥]」

んあ[♥]

ち[♥]

ち[♥]

ひう[♥]

ち[♥]

き[♥]

き[♥]

ほ[♥]

あ[♥]

ジボッ

ズルギ

ジユグ

ジユグ

ズップ

ドエツ

いいんあ[♥]あ[♥]はつ[♥]イイとこ半[♥]て[♥]
いっぱい[♥]ナカに[♥]出[♥]し[♥]てえ[♥]
安全日[♥]だ[♥]から[♥]一[♥]か[♥]ら[♥]あ[♥]



「んああああああああああああつ♥♥♥♥」

ビュ
ル

ビュ
ル

ビュ
ル

ルバツ
!!

ビュ
ル

ビュ
ル

ビュ
ル

ド
ブ

パン

ド
ブ
パン

はああああああああああんつ♥♥♥♥♥

ビュ
ル

ビュ
ル

「はつ……あ♡ザーメン溢れちゃった♡
こんなに濃いの出さんちやつたら
安全日でも妊娠しちゃうかも……♡」

はー♡

ドロードロ…

ドロードロ…

ビュウ…

ビュウ…

ド…

「チ○ポ……お腹の中で、びくびくって
跳ねてる……♡少し、可愛い……かも♡」

はあ…♡

はあ…♡

ゾクゾク?

びくん♡

ビュウ…

ぐく…

「チ○

ポ……お腹の中…

で、びくびくつ…

てる……♡少…

し、可…

愛い……かも♡」

数か月後――

「赤ちゃんいるのにボテ腹セックスしたい
なんて……みんな変態なんだから♪」

ズカ・

ギト・

ヌエ・

ヌイ・

ズア・

はあ・

マニ

ビタ

アハ

ん・

「あはは……そりや危険日外でもあんな
バンバン中出したらデキちゃうよね」



「つ
ダメつ
赤ちつ
づくりし
やんづ
からあ
でパゴ
のリゴ
おゴ
ーチリ
ンツつ
に」

「リマ」

んあ～

ち

ひう～

ち

ほ

ち

ほ

ち

あ～

「ザ
いん
あ
いよ
あは
つ
メン
い
赤
ぱ
い
や
イ
飲
ま
に
と
も
こ
て
半
て
え
私
り
に
る
つ
も
つ
つ
一」

「ジユ～ブ」

「ズッパ」

「ドエ～」



「んああああああああああああつ♥♥♥♥♥」

ビュ

ビ

ビュ

ルバツ

!!

ビュ

ビ

ビュ

ー

ド

ビ

ド

ブラン

「はああああああああああんつ♥♥♥♥♥」

ビ



「あ……。赤ちゃん、お腹蹴つてたのかな……」
「あーえきに驚いたのかな……」

「はー♪

「はー♪

「ドーッ

「あ……。赤ちゃん、お腹蹴つてたのかな……」
「あーえきに驚いたのかな……」

「はー♪

「はつ……あザーメン溢れちゃったな♪
まで妊娠しちゃうかも……♪一赤ちゃん

PHASE4：一快樂の空の下で

サラを「E-GBN」へと導き、ブレイクデカールを与えたのは「黒幕」にとってはただの興味本位な実験だった。

「デカールがELダイバーにどの様な変化を齎すのか」と。そしてその結果を十分知れた「黒幕」にとってサラはもう興味の対象足りえず、既にモニタリングすらしていない。

——無論快樂に溺れた彼女達がそれを知る由もなく。サラ達は今日もE-GBNへとダイブする。

「みんなのおちん○こす」「ハハ熱い……ア」

「んひつもー、お尻に指入れたらダメだよー♪」

「ニップ」

「ズチュ♥」

「あはは」

「ひう♥」

「私達のフオースネストを再現
してこんな事させるなんて…
悪趣味ね…♥」

「スプル♥」

「たぶん」

「ん」

「ひやうつんあモモ、これすごい……♡
おちん〇んつ、おマ〇コの奥まで届いてる♡」

あ
う
う

ズ
チ
エ
ツ

ジ
ケ
ビ
ツ

「あ
ん
が
ら
ハ
メ
ら
れ
る
の
や
バ
つ
う
♡」

ズ
ブ
ズ

は
あ
マ

「ひ
ぐ
つ
ご
め
ん
な
つ
さ
い
つ
私
達
っ
た
あ
♡
♡
♡
♡
♡」

ジ
ュ
ッ
ボ
ン

人
ま
る

パ
チ
ッ

ズ
ッ
ぱ
ン

「ひああああああああああああああ♡♡♡』

『ビュルッ

『ビューフー』

「んああああああつ♡♡♡』

『ビューザー』

ドビュルッ!!

『ビューフー』

『ビューフー』

『ビューフー』

『ビューフー』

『ビューフー』

『ビューフー』



「せーえきいいっぱい……♥でも、みんなの…おちん○ん…まだ全然満足してない…♥」

「お尻とお尻を持ちながら同時に攻めがこんなもんぢやないよ…♥」

「思ひ出の場所を汚しながら抱えながライクの…クセになりそう…♥」

はー…

はー…

ぐく…

ド…ド…

ド…

ド…



PHASE RE1：トラワレー

エルドラを巡る「ヒツメ」との戦いの中で撃墜され、アルスの囚われの身となってしまったメイ。

自身を生け捕りにしたアルスの意図が読めず困惑するメイだったが、アルスは捕虜にしたメイの中にかつての主、「古き民」の存在を感じ取っていた。

そして彼は彼女を利用し「古き民」の再生を計画する。生殖用の肉体へ意識を移したアルスはメイ達の世界から読み込んだ「あるモノ」を用いて彼女に迫る。

「くっ……、一体なんのつもりだ……？
今の私は砂で構成された体だ。こんな事に意味は……」

『——再生プログラム。第一段階を発動
対象の肉体の再構築を開始』



「っ――！？これは……ブレイクデカール！？
どうしてこんなものがここに……！」



「ん……はっ……。なん……だ……？
体がおかしい……。腹の奥が熱い……」

『第一段階を終了。続けて第二段階を実行。
対象との生殖行動を開始』

「生殖行動だと……！？ふざける、な……っ！
んあっ！くぅ……！止めろ！放せっ！」

(一突きされるだけで全身が痺れる……！
まずい……私が、壊される……！？)

「ひぐう！？ま、待て……待ってくれっ♡
ダメだ……こんなの、耐えられないっ♡ピストン
を止めっ♡♡頭、おがしく——」



「あああああああああああああああっ♡♡♡」



「はーっ……はーっ♡中に……熱いものが溢れて……♡
気持ちいい……こんなの、初めてだ……♡
もっと……もっとくれ……♡私を、孕ませてくれ……」

『第二段階を終了——以降第二段階を再実行。
生殖が確認されるまで繰り返します』

「んおう♡♡ひぎいいっ♡♡ぎもちいい♡♡
チン〇お♡♡♡もっとチン〇で抉ってくれえ♡♡♡」



「胎児の安定した成長を確認。経過は順調……
これでまた……貴方達に会えるのですね」

PHASE RE2：一堕ちた巫女—

エルドラに関する一連の事件が解決し、ヒロトに誘われ
GBNのアカウントを取得したムカイ・ヒナタ。

その後GBNを気に入ったヒナタは時折一人でもログイン
するようになったが、このテのゲームに馴染みのない
彼女は自身に向けられる悪意に鈍感であった。

まんまと「ブレイクデカール」の罠にかかったヒナタは
違法ツールが齎す快楽に抗えず堕落していく—

「ははは、意外マははとつづちスちキヤヒモつナノたタちゃんもすっかり『おとねー』にだつたとは」

「むー、その言ひ方はひどいですよー。
そりゃあ……現実ではできないですよ。
を楽しんでるのは事実でありますけど……」



「ほらほら
楽しんじゃつ。
チジ入るおう言
のう知せい！
訳でんこんだか
とか突かれい
るといから
さ！」

「我慢
反応あつ
ででつきす
なつい、
でくで
えいきな
つちやだ
うめえ
よお
」



「おっ。自分でへこへこ腰振り始めたな。
そういう気持ちいいコトには素直じゃなきゃ♪」



「そらつ！中出しあクメキメろつ！」



「ひああああああああつ♥♥♥」

「あは……♥は……♥ナカ出し気持ちいい……♥
頭痺れるう……もつと♥もつとちようだい……♥」

「おーおー、淫乱な本性出ちゃつたね。
そんなら、この前手に入れたこの
変態マ○コでも使つてみるか……」



「ひぐううう
チ○ポおつ
チ○心あひつ
チ○ポおおひ
あああああ」

「……ちよーつとキマリ過ぎたか?
加初めして使つたからな……
一とチ○ポバカにならん時
は」



PHASE RE3：一歪んだ日常一

ブレイクデカールに墮ち、快楽の虜となって早数年。
モモとサラの爛れた生活は未だ続いていた。

ELダイバーとしての力で「E-GBN」の空間を自在に操れる様になったサラは目についた男性ダイバーたちを自ら誘い込み、仲間と共に性交にふける。

最早ただの性行為では満足出来なくなる程に開発された彼女達は今日もアブノーマルなプレイに興じるのであった。





「んあつ♥♥ちよつ♥感度設定弄るのは
反則でしょつ♥ひあ♥待つてつてえ♥」

んあつ

はづ

あづ

はづ

ビビビ

Sensitiv
SARA
MOMO

太気丈持夫ちだいんかからドキチ







ドロ...
はー...
変だよお...
ただでさえ二穴好きなんてつ
もつと変態になつちやう

ビル...
はー...
心

はー...
心



ビル...
はー...
心

ちーす
や回ご
つでい
せーえ
おマ
あはい
ンつぱ
いお尻
もー一
になつ

ド...
はー...
心

ビ...
はー...
心

ク...
はー...
心

ビ...
はー...
心

ク...
はー...
心

ビ...
はー...
心

ク...
はー...
心

ビ...
はー...
心



擬音刃刃Ver





アハハハ

アハハハ

アハハハ



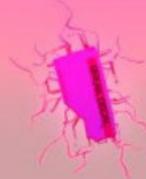








—BREAK DECAL ACTIVE—



















—BREAK DECAL ACTIVE—













—BREAK DECAL ACTIVE—















たふん

ぐくぐく

ふふ

ぐくぐく





















































Sensitivity setting
SARA
MOMO



ブブッ

ドキキ

ブブッ

ブブッ

ブブッ

は~

あ~

は~

んあ~





BL

BL

BL

BL

BL

BL

setting
SP 100





イラストのみVer































—BREAK DECAL ACTIVE—













—BREAK DECAL ACTIVE—



































































Sensitivity setting

SARA

MOMO



Sensitivity setting

SARA

MOMO



Sensitivity setting
SARA
MOMO



Sensitivity setting
SAK
Caution
MOMO



Sensitivity setting
SAK
Caution
MOMO



ボテ腹 + 摂音Ver







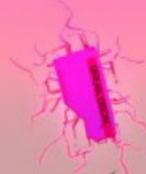








—BREAK DECAL ACTIVE—

















—BREAK DECAL ACTIVE—













数か月後――







































ボテロムVer































—BREAK DECAL ACTIVE—















































